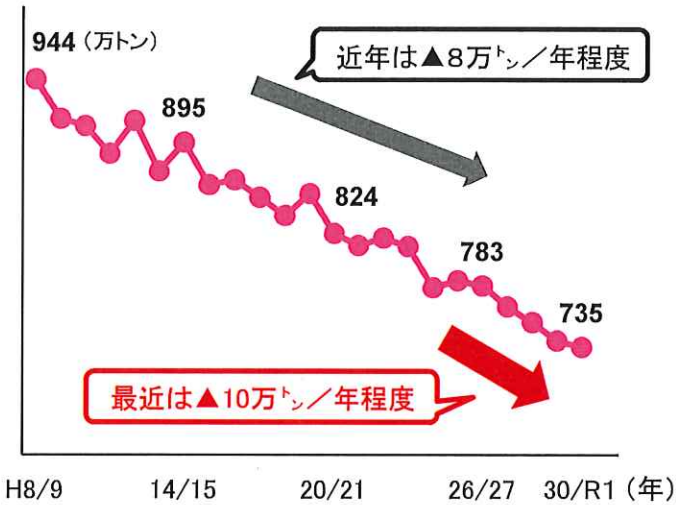


I 米の需給状況

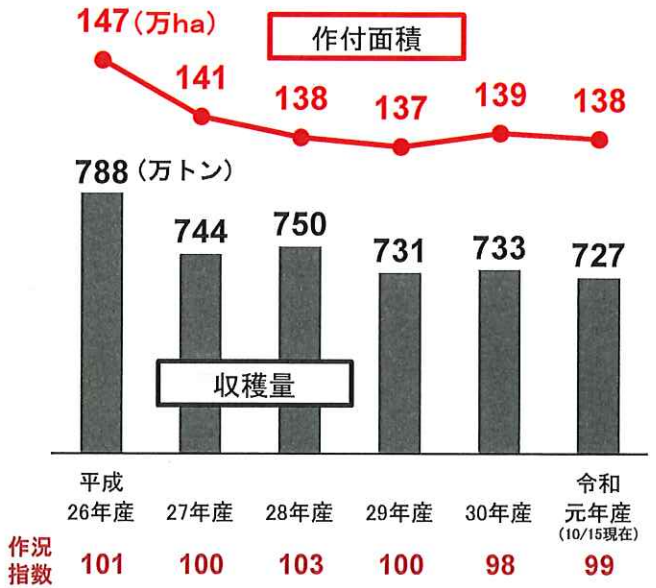
(1) 令和元年産における最近の動向

- 主食用米の需要量は人口減少もあり、最近は年間10万トン程度減少。
- 元年産の生産量は作況99となり、10月15日現在の予想収穫量は727万トンと見通される。
- こうした状況の下、2年6月末の民間在庫量は元年6月末と同水準の189万トンと見通され、元年産の相対取引価格は前年産と比較してほぼ横ばいでスタート。

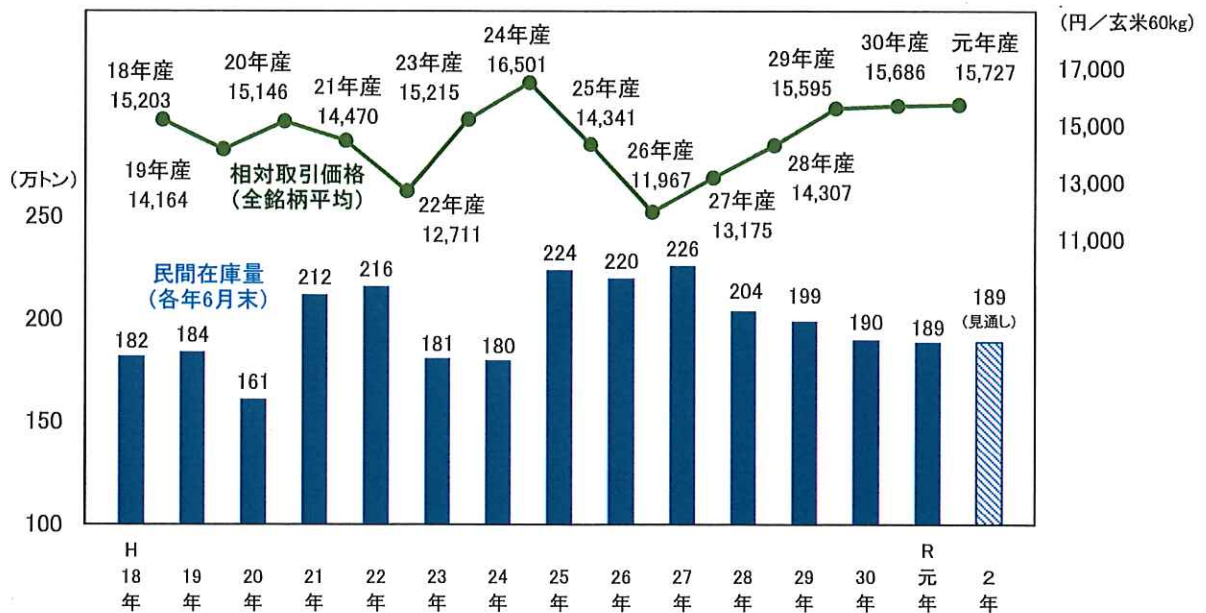
主食用米の需要量の推移



主食用米の作付面積と収穫量、作況指数の推移



相対取引価格と民間在庫量



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月（30年産は元年8月、元年産は元年10月）までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

(2) 米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和元年11月20日）

- 主食用米等の需要量の見通しについて、令和元/2年は727万トン、令和2/3年は717万トン。
- 主食用米等の生産量の見通しについて、令和2年産は708万トンから717万トンまでと幅をもって設定。

主食用米等の需給見通し

(単位:万トン)

令和元/2年	令和元年6月末民間在庫量	A	189(確定値)
	令和元年産主食用米等生産量	B	727 (10/15現在 予想収穫量)
	令和元/2年主食用米等供給量計	C=A+B	916
	令和元/2年主食用米等需要量	D	727
	令和2年6月末民間在庫量	E=C-D	189

令和2/3年	令和2年6月末民間在庫量	E	189
	令和2年産主食用米等生産量	F	708 ~ 717
	令和2/3年主食用米等供給量計	G=E+F	897 ~ 906
	令和2/3年主食用米等需要量	H	717
	令和3年6月末民間在庫量	I=G-H	180 ~ 189

注：令和元年産米については、高温等の影響により産地品種銘柄によっては精米歩留りが例年よりも低下している状況にあること等から、実際に主食用米等として流通する数量は減少する可能性がある。

需要量の見通し（令和元/2年及び令和2/3年）

【算定方法】

- ① 平成8/9年から現在までの1人当たり消費量を用いたトレンドで、将来の1人当たり消費量を推計
- ② ①で推計した将来の1人当たり消費量に将来の人口（推計値）を乗じて需要量の見通しを算出

<令和元/2年>

$$\begin{array}{l} \text{1人当たり消費量} \quad \text{人口} \quad \text{需要見通し} \\ 57.6\text{kg} \times 126,140\text{千人} = 727\text{万トン} \end{array}$$

<令和2/3年>

$$57.0\text{kg} \times 125,691\text{千人} = 717\text{万トン}$$

▲10万トン

生産量の見通し（令和2年産）

令和3年6月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準（180万トン）となる「708万トン」から主食用米等の需要量の見通しと同水準の「717万トン」までと9万トンの幅をもって設定

（参考）翌年産の主食用米等生産量の見通し（前年同月策定の基本指針との比較）

令和元年産 718万トン～726万トン
(平成30年11月基本指針)



令和2年産 708万トン～717万トン
(令和元年11月基本指針)

その他詳細な内容は、下記URL「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」をご覧ください。
URL: http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/attach/pdf/index-1.pdf

(3) 令和元年産の水田における作付状況（確定値）

- 全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減があるものの、前年実績（138.6万ha）から0.7万ha減少し、137.9万haとなった。
- また、戦略作物等については、備蓄米の作付面積が増加する一方、加工用米及び飼料用米が減少し、その他の戦略作物については、総じて前年並みとなった。

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

(万ha)

	主食用米	備蓄米	戦略作物							
			加工用米	新規需要米				麦	大豆	その他
				飼料用米	WCS （ 稲発酵 粗飼料稲）	米粉用米	新市場 開拓用米 （輸出用米等）			
H27年産	140.6	4.5	4.7	8.0	3.8	0.4	0.2	9.9	8.7	10.0
H28年産	138.1	4.0	5.1	9.1	4.1	0.3	0.1	9.9	8.9	10.2
H29年産	137.0	3.5	5.2	9.2	4.3	0.5	0.1	9.8	9.0	10.2
H30年産	138.6	2.2	5.1	8.0	4.3	0.5	0.4	9.7	8.8	10.2
R元年産	137.9	3.3	4.7	7.3	4.2	0.5	0.4	9.7	8.6	10.2

注1：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：その他は、飼料作物、そば、なたね等の面積。

注4：麦、大豆、その他（基幹作のみ）は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積。